

下館二高の生徒3人が看護師を体験

下館二高の2年生、倉持希歩さん、関口凛さん、荒川志恩さんの3人は、8月6、7の両日、インターンシップとして城西病院で看護師を体験しました。

初日の午前中は、手術室や病児保育、救急処置室、MRI、CT、臨床検査室、透析センター、城西総合健診センターなどを見学。手術室での手術台体験やCTの模擬体験、手洗い指導など、さまざまな体験を行いました。引き続き、地域包括ケア病棟で、看護師体験。患者さまと話をしたり、車いす体験や包帯の巻き方、ベッドメイキングなど看護師さんの仕事の一端を体験し、看護師に1日の仕事の流れや、やりがい、仕事で大変に思ったことなどを聴いていました。

倉持さんは、初日だけの体験でしたが、「ドラマなどを見ていて、看護師は人に感謝される仕事。看護師を目指しています。インターンシップでは、MRIやCTの違いを教えてもらったり、いろんな機械を見ることができてよかった」と話していました。看護師志望の関口さんは「中学の時、城西病院で職場体験をして、もっと知りたいと思って来ました。人の痛みや気持ちの分かる看護師になりたいと思いました」。そして医療関係に進みたいと思っている荒川さんは「インターンシップで医療関係の仕事の中身を知ることができ、進路を決める大きな参考になりました。医療関係に進んで、人を助けることができる仕事をしたいと思いました」と感想を述べていました。

平成30年8月7日

